

令和4年度  
がん対策推進企業アクション  
パートナーアンケート結果報告書

令和5年3月27日

# 調査概要

## 調査名

職域におけるがん検診及び就労支援の実態調査

## 調査対象

がん対策推進企業アクション推進パートナー企業・団体 2550社

## 調査期間

2022年11月～2022年12月

## 回答数

1017社・団体

# 調査対象 企業規模

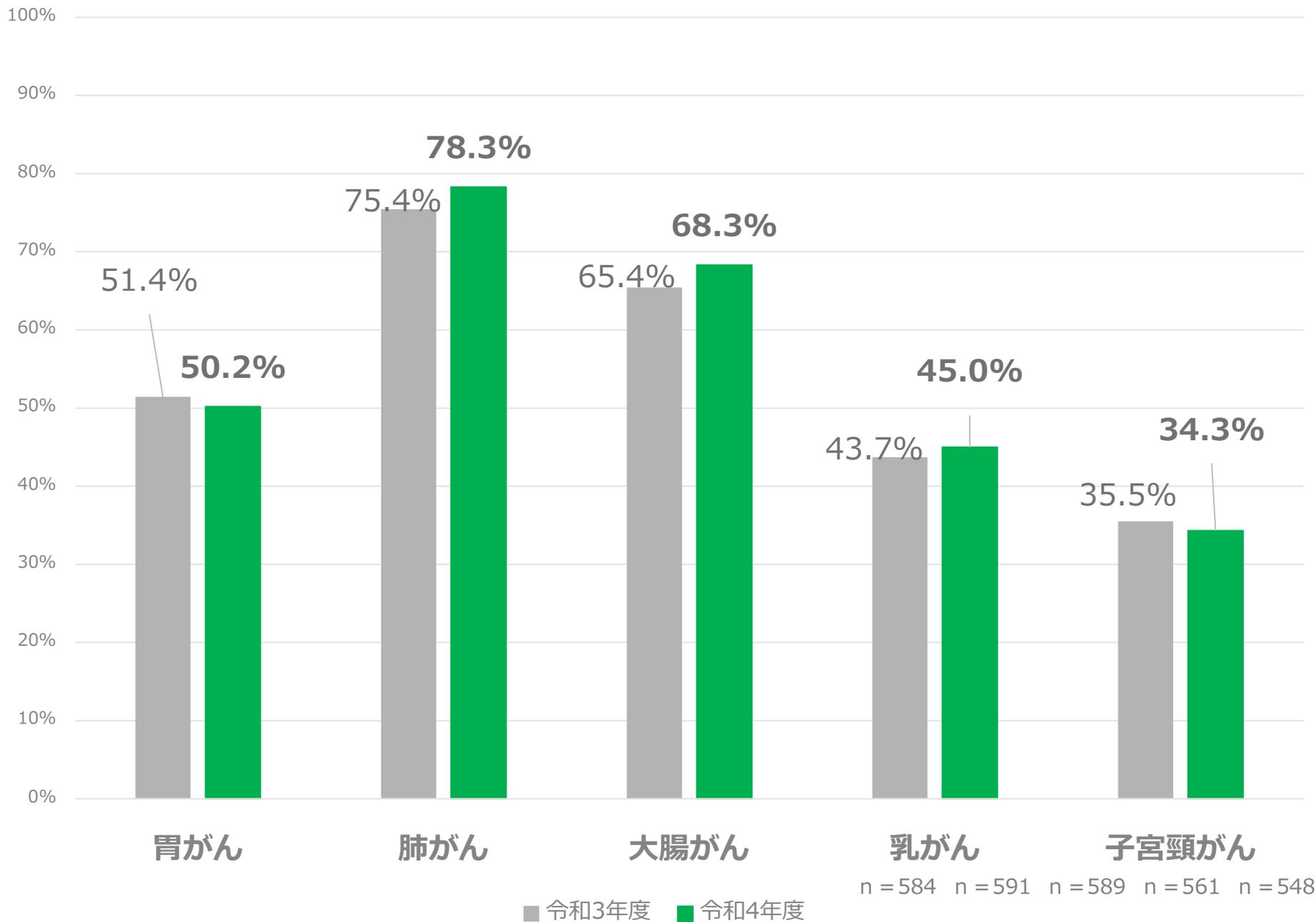
全体		1017
従業員規模	0～20名	269
	21～100名	186
	101～500名	180
	501～1000名	55
	1001～5000名	94
	5000名以上	51
健保		182

# 調査概要 業種別回答企業数

業種	企業数
健康保険組合	186
製造業	173
サービス業（他に分類されないもの）	113
情報通信業	100
金融業・保険業	88
卸売業、小売業	76
建設業	73
医療・福祉	60
学術研究、専門・技術サービス業	41
運輸業・郵便業	20
分類不能の産業	20
教育・学習支援業	15
生活関連サービス業・娯楽業	13
不動産業・物品賃貸業	13
公務（他に分類されるものを除く）	6
電気・ガス・熱供給・水道業	6
複合サービス事業	6
宿泊業・飲食サービス業	5
農業・林業	3

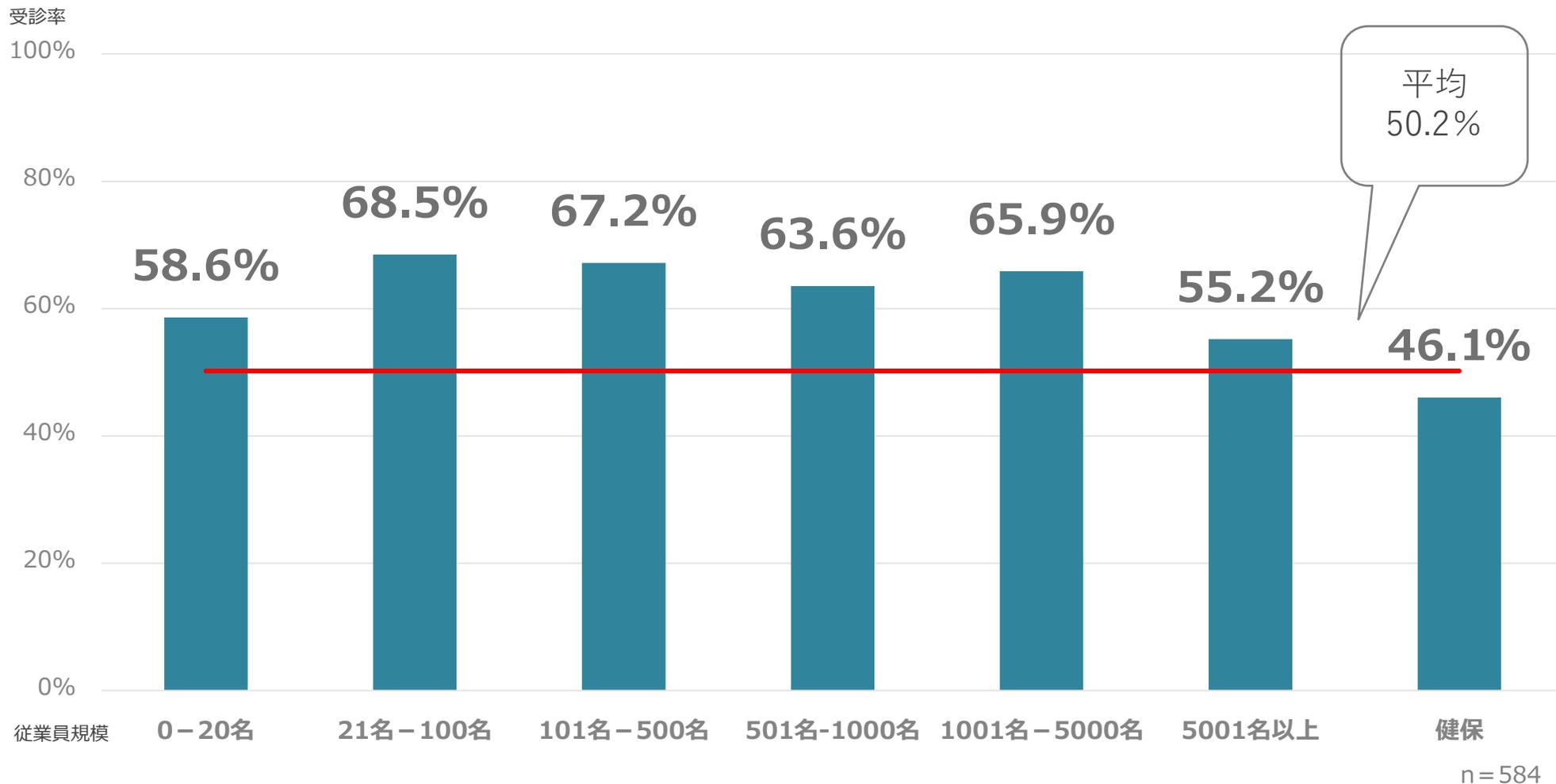
合計 1017

# 調査結果 受診率（加重平均）



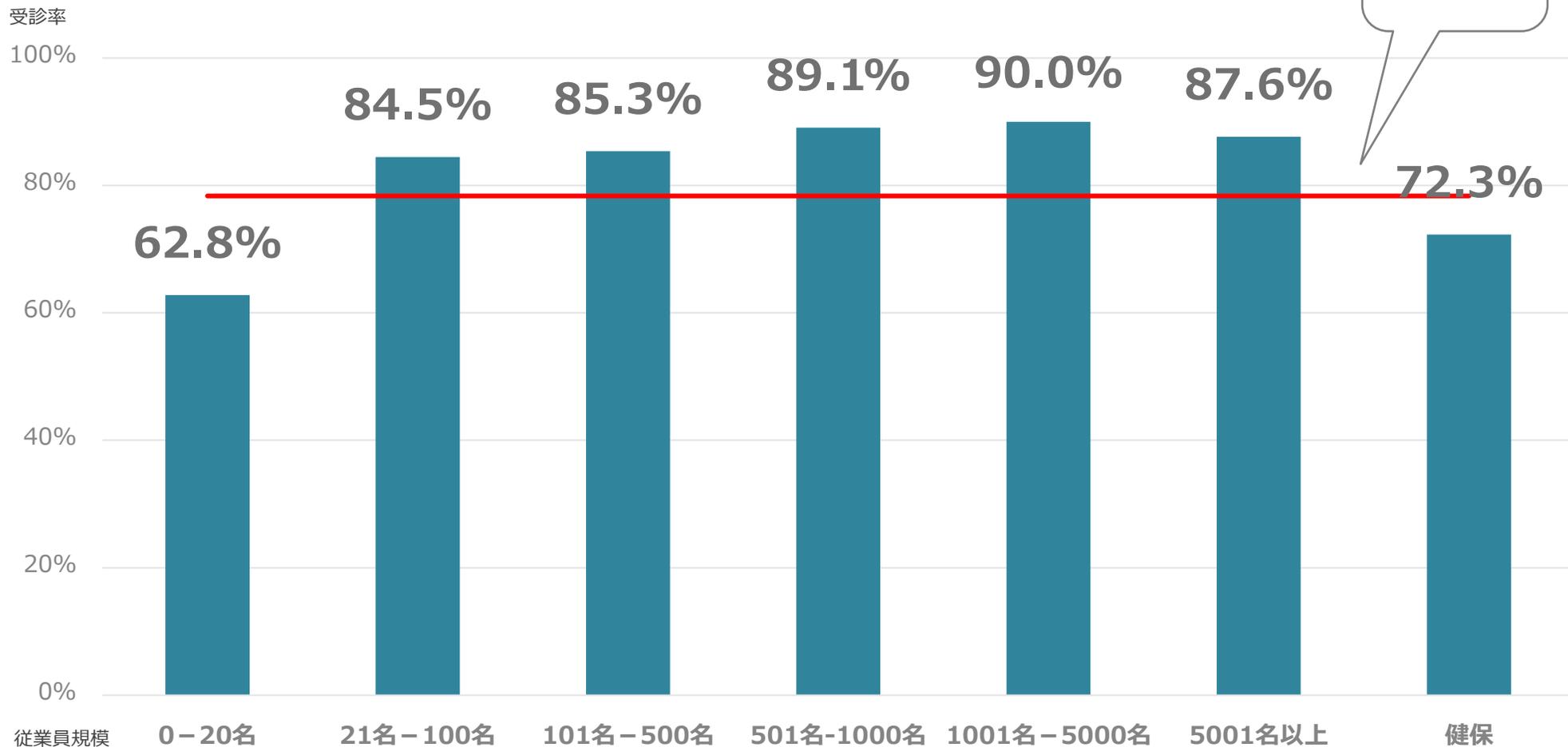
# 調査結果 従業員規模別受診率 胃がん（加重平均）

問5.国が推奨する5つのがん検診について、貴社・貴団体における2021年度の検診受診率を数字（半角数字）でご記入ください。わからない場合には「NA」（半角大文字）とお答えください。2021年度の数値がなければ把握している直近年度をお書きください。



# 調査結果 従業員規模別受診率 肺がん（加重平均）

問5.国が推奨する5つのがん検診について、貴社・貴団体における2021年度の検診受診率を数字（半角数字）でご記入ください。わからない場合には「NA」（半角大文字）とお答えください。2021年度の数値がなければ把握している直近年度をお書きください。

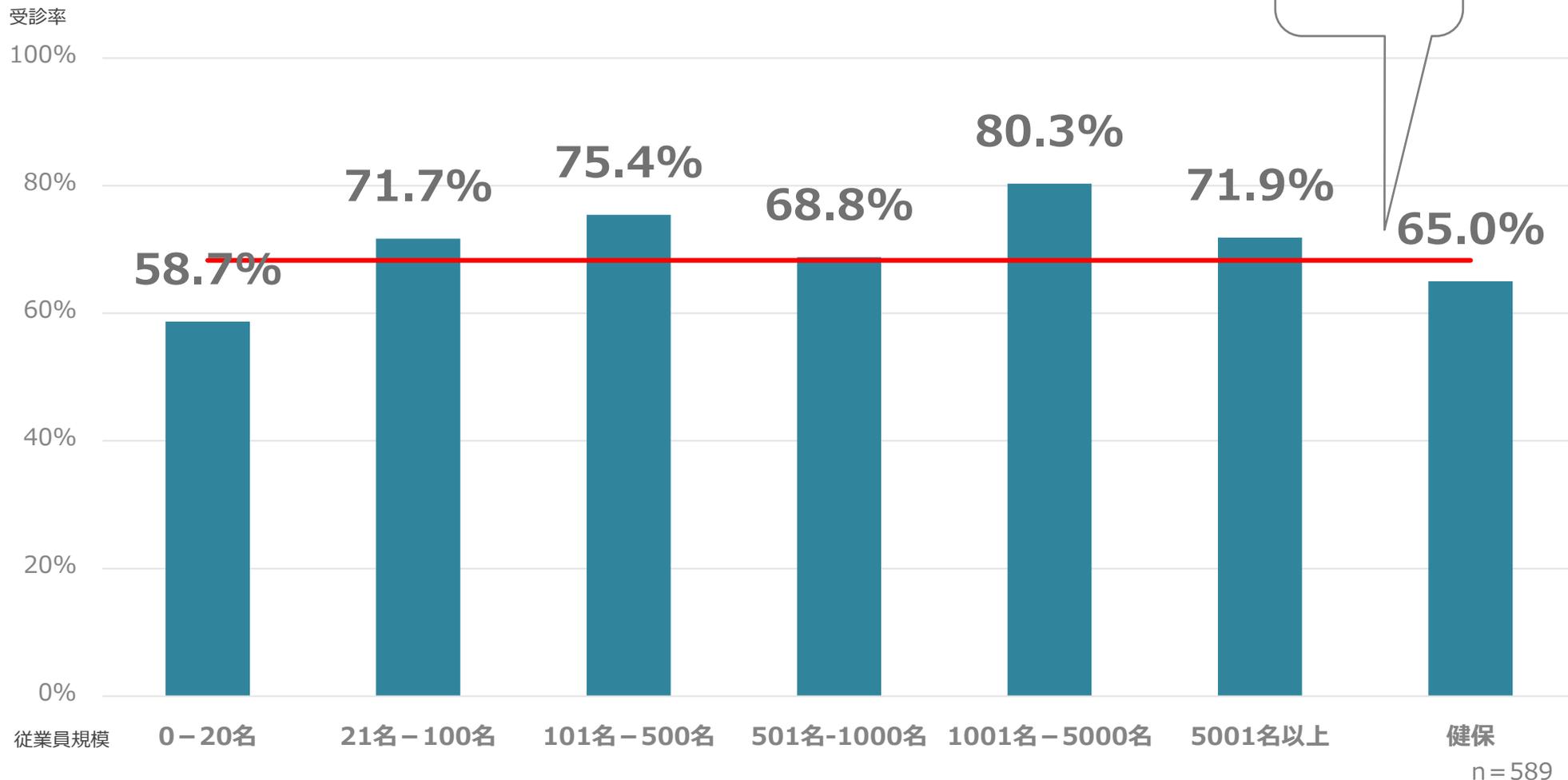


平均  
78.3%

n = 591

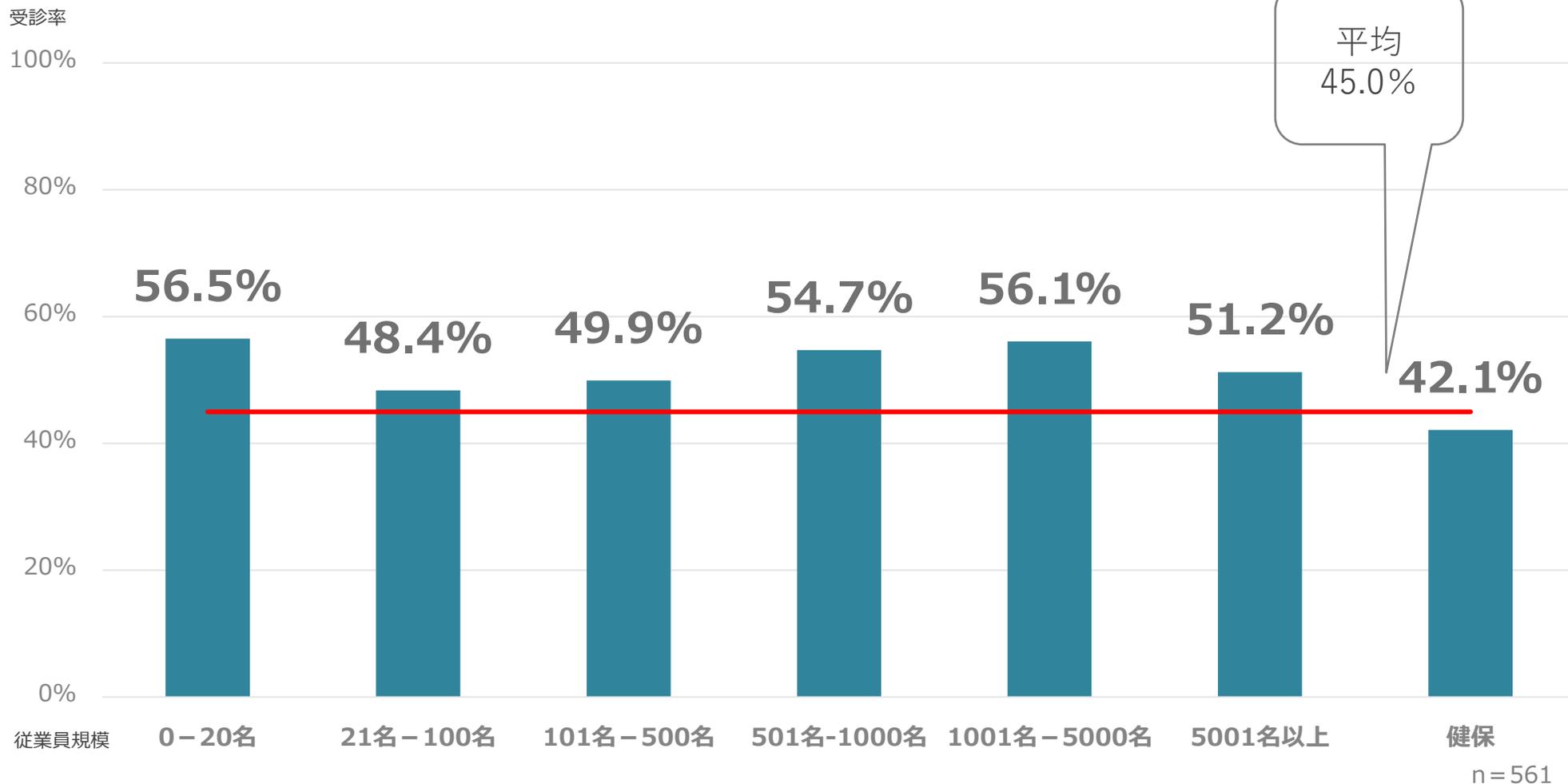
# 調査結果 従業員規模別受診率 大腸がん（加重平均）

問5.国が推奨する5つのがん検診について、貴社・貴団体における2021年度の検診受診率を数字（半角数字）でご記入ください。わからない場合には「NA」（半角大文字）とお答えください。2021年度の数値がなければ把握している直近年度をお書きください。



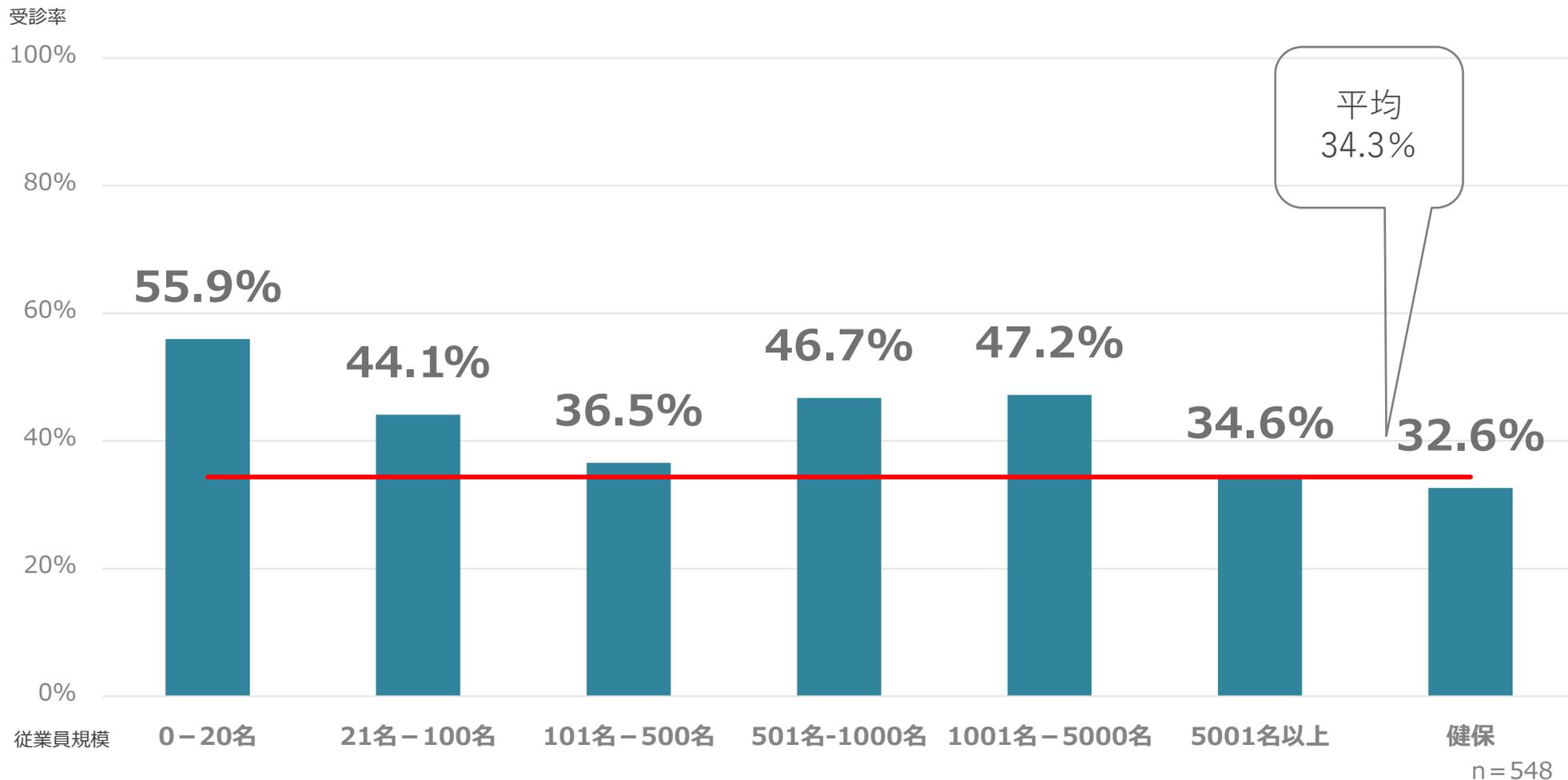
# 調査結果 従業員規模別受診率 乳がん（加重平均）

問5.国が推奨する5つのがん検診について、貴社・貴団体における2021年度の検診受診率を数字（半角数字）でご記入ください。わからない場合には「NA」（半角大文字）とお答えください。2021年度の数値がなければ把握している直近年度をお書きください。



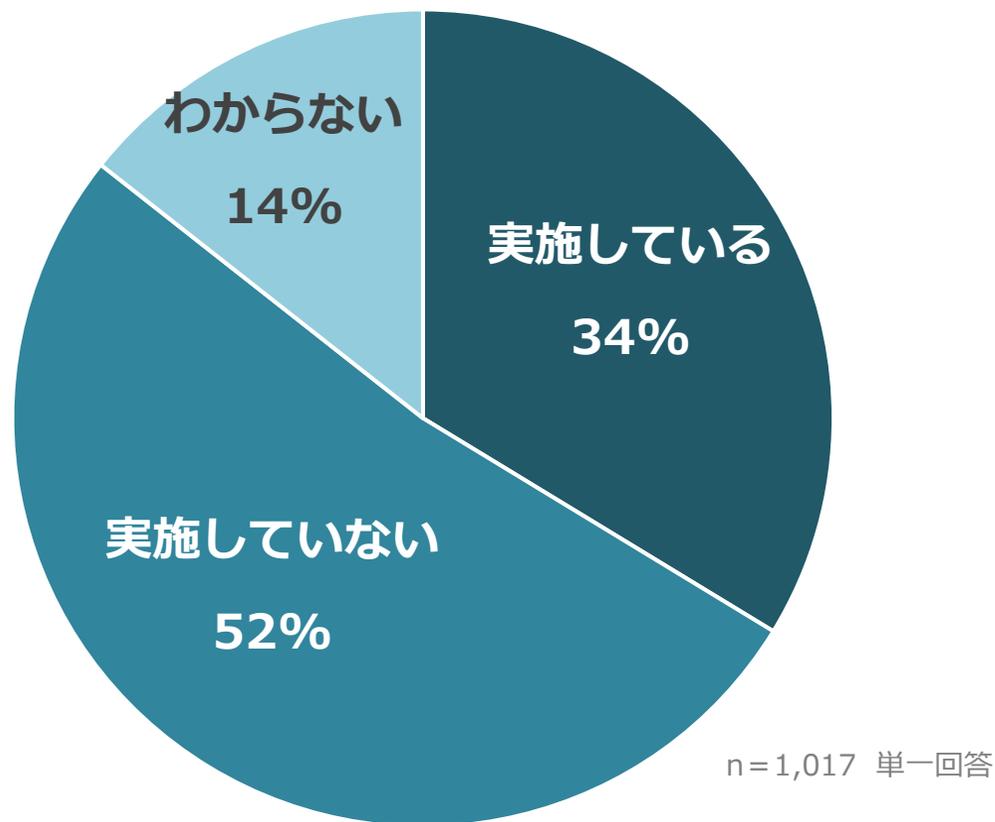
# 調査結果 従業員規模別受診率 子宮頸がん（加重平均）

問5. 国が推奨する5つのがん検診について、貴社・貴団体における2021年度の検診受診率を数字（半角数字）でご記入ください。わからない場合には「NA」（半角大文字）とお答えください。2021年度の数値がなければ把握している直近年度をお書きください。



# 調査結果 前立腺がん検診実施率

問7.前立腺がん検診は国として現在推奨する検診ではありませんが、  
実態として実施している企業様・健保様も一定程度いらっしゃいます。  
本調査では前立腺がん検診実施の実態把握を目的とし質問しております。  
前立腺がん検診を実施している場合には直近の年度の受診率をお答えいただけますでしょうか。  
※わからない場合には「NA」（半角大文字）とお答えください。



# 調査結果 がん検診の取り組み ★費用負担

問9.下記の一覧にある取り組みのうち、すでに着手しているものはありますか？

	全体	企業	健保	0-20名	21名-100名	101名-500名	501名-1000名	1001名-5000名	5001名以上
がん検診費用を会社・健保で補助している (全額または一部)	72%	68%	93%	50%	65%	74%	84%	90%	94%
検査機関までの交通費を会社・健保が支給している (全額または一部)	18%	20%	10%	16%	19%	17%	25%	35%	25%
自治体が発行しているがん検診を受診した方に、 費用を会社・健保で補助している (全額または一部)	18%	14%	34%	17%	9%	11%	20%	16%	25%
検診にかかる自己負担分の費用を窓口支払いではなく 給与天引きにしている	12%	11%	15%	3%	13%	14%	22%	14%	14%

n=1017 複数回答可

# 調査結果 がん検診の取り組み ★受診日時

問9.下記の一覧にある取り組みのうち、すでに着手しているものはありますか？

	全体	企業	健保	0-20名	21名-100名	101名-500名	501名-1000名	1001名-5000名	5001名以上
従業員の希望に合わせて受診したい日時を決定している	58%	56%	71%	48%	53%	49%	67%	74%	82%
がん検診受診時間を就労扱いとしている（勤務日なら就労扱い、休日なら代休の取得可能）	43%	44%	41%	34%	49%	44%	51%	55%	45%
それぞれのがん検診受診時間を予め決定している	30%	30%	29%	22%	31%	34%	33%	40%	33%
がん検診受診時間を特別休暇扱いしている	5%	5%	7%	3%	4%	4%	7%	9%	8%

n = 1017 複数回答可

# 調査結果 がん検診の取り組み ★受診場所

問9.下記の一覧にある取り組みのうち、すでに着手しているものはありますか？

	全体	企業	健保	0-20名	21名-100名	101名-500名	501名-1000名	1001名-5000名	5001名以上
従業員の希望に合わせて受診したい 医療機関から選択できるようにしている	53%	49%	74%	43%	39%	43%	56%	71%	84%
検診車を職場に派遣させるなど、職場で一斉に検診を行っている	33%	29%	51%	9%	29%	40%	47%	43%	51%

n=1017 複数回答可

# 調査結果 がん検診の取り組み ★検診受診・その他

問9.下記の一覧にある取り組みのうち、すでに着手しているものはありますか？

	全体	企業	健保	0-20名	21名-100名	101名-500名	501名-1000名	1001名-5000名	5001名以上
がん検診の項目を個人が選択できるようにしている	54%	51%	68%	42%	41%	46%	69%	74%	84%
健康診断とがん検診をワンストップで受診できる体制を整えている	45%	41%	62%	21%	44%	47%	55%	62%	63%
国が推奨している検診の内容を従業員にも推奨している	37%	37%	40%	23%	30%	34%	53%	67%	65%
大腸がん検診の検査キットを、申し込みをとらずに該当者全員に配布している	30%	30%	31%	11%	31%	43%	47%	37%	41%
がん検診実施の際に、女性への配慮を行っている	25%	22%	36%	8%	18%	23%	40%	47%	47%
各々検診に関するメリットとデメリット、結果の解釈などがわかるような説明資料を準備している	19%	18%	21%	7%	13%	18%	38%	37%	41%

n=1017 複数回答可

# 調査結果 がん検診の取り組み ★受診勧奨

問9.下記の一覧にある取り組みのうち、すでに着手しているものはありますか？

	全体	企業	健保	0-20名	21名-100名	101名-500名	501名-1000名	1001名-5000名	5001名以上
受診対象者には文書・メール・口頭などで受診を促すお知らせをしている	64%	63%	68%	46%	67%	64%	73%	85%	82%
未受診者には再度、文書・メール・口頭などで受診を促すお知らせをしている	39%	38%	41%	20%	35%	43%	58%	67%	55%
管理職から従業員へ受診勧奨するよう管理職に対する通知をしている	25%	26%	20%	12%	20%	31%	35%	47%	51%

n=1017 複数回答可

# 調査結果 がん検診の取り組み ★啓発

問9.下記の一覧にある取り組みのうち、すでに着手しているものはありますか？

	全体	企業	健保	0-20名	21名-100名	101名-500名	501名-1000名	1001名-5000名	5001名以上
専門スタッフ（産業医.産業保健師.産業看護師等）が主導して、がんに対する情報発信やがん検診の推進をしている	66%	64%	76%	51%	59%	67%	78%	87%	86%
企業アクションが発行する『がん検診のススメ』を読むように従業員に推奨している	22%	23%	19%	14%	21%	28%	35%	33%	35%
がん検診に関するポスターやパネルの掲示、社内報やセミナーなどを通じて、がんに対する情報を発信している	19%	18%	21%	3%	8%	14%	31%	63%	55%
企業アクションが作成したE-Learningを会社として導入している(または、する予定がある)	9%	9%	7%	4%	8%	8%	13%	19%	24%

# 調査結果 がん検診の取り組み ★検診結果把握

問9.下記の一覧にある取り組みのうち、すでに着手しているものはありますか？

	全体	企業	健保	0-20名	21名-100名	101名-500名	501名-1000名	1001名-5000名	5001名以上
従業員のがん検診(1次検診)の受診状況を把握する仕組みがある	47%	45%	57%	23%	47%	49%	51%	76%	75%
がん検診(1次検診)の結果を、会社もしくは健保が集取することに対して、従業員もしくは被保険者から同意を取得している	42%	38%	60%	20%	37%	44%	51%	66%	51%
要精密検査対象者に受診勧奨をしている	40%	39%	43%	13%	41%	46%	64%	68%	67%
精密検査の受診状況を把握する仕組みがある	31%	30%	34%	10%	31%	34%	49%	52%	63%
健康情報等の取扱規程を策定している(企業のみ)	26%	29%	12%	13%	20%	27%	53%	63%	69%
精密検査の結果を会社もしくは健保が集取することに対して、従業員もしくは被保険者から同意を取得している	24%	23%	27%	9%	20%	29%	35%	45%	41%
精検受診の費用を会社・健保で補助している(全額または一部)	10%	9%	17%	6%	6%	12%	11%	14%	12%

# 調査結果 がん検診の取り組み ★経営層・管理職

問9.下記の一覧にある取り組みのうち、すでに着手しているものはありますか？

	全体	企業	健保	0-20名	21名-100名	101名-500名	501名-1000名	1001名-5000名	5001名以上
安全衛生委員会で議題として取り上げ、 受診勧奨するよう管理職に通知している	33%	35%	25%	14%	34%	44%	55%	53%	63%
各事業所のトップが集まる会議や健康管理推進委員会等 で、事業所別の受診率を明示している	17%	16%	21%	4%	14%	15%	29%	31%	41%
保健事業推進委員会など、専門委員会を設置している	14%	10%	34%	2%	5%	7%	22%	28%	27%

n=1017 複数回答可

# 調査結果 がん検診の取り組み ★被扶養者の受診

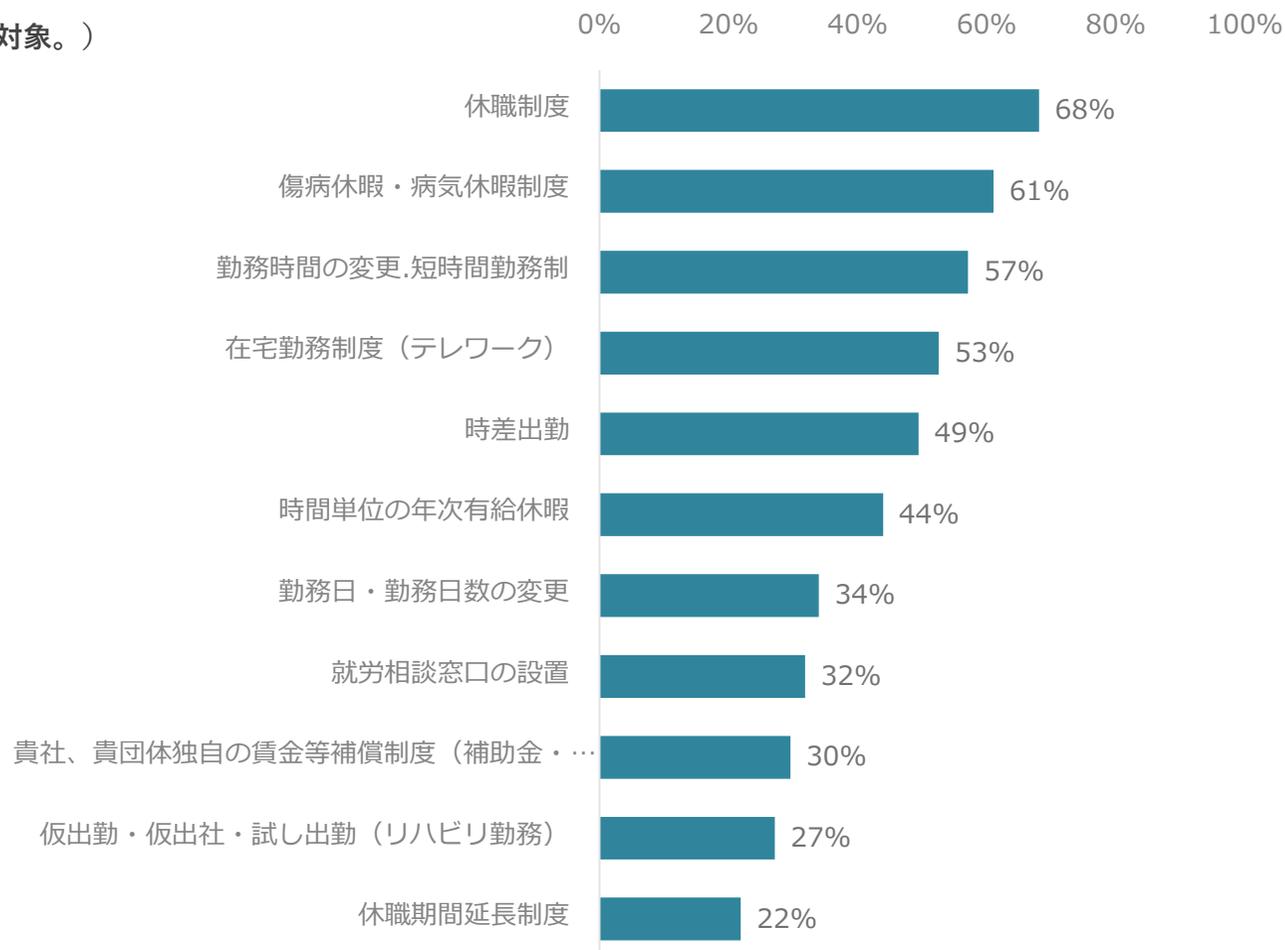
問9.下記の一覧にある取り組みのうち、すでに着手しているものはありますか？

	全体	企業	健保	0-20名	21名-100名	101名-500名	501名-1000名	1001名-5000名	5001名以上
がん検診費用を会社・健保で補助している (全額または一部)	37%	26%	85%	7%	13%	30%	49%	61%	71%
被扶養者の方へ受診勧奨をしている	34%	27%	68%	21%	19%	26%	42%	38%	51%
被扶養者の方へ検診案内を本人宛に郵送で届けている	26%	18%	65%	4%	11%	20%	25%	41%	53%
被扶養者の方の受診率を把握している	23%	14%	65%	7%	8%	10%	16%	33%	51%

# 調査結果 両立支援の取り組み

問11.両立支援を支える制度として、貴社に以下の制度がありますか？

## ■ 両立支援制度の導入率（全企業が対象。）

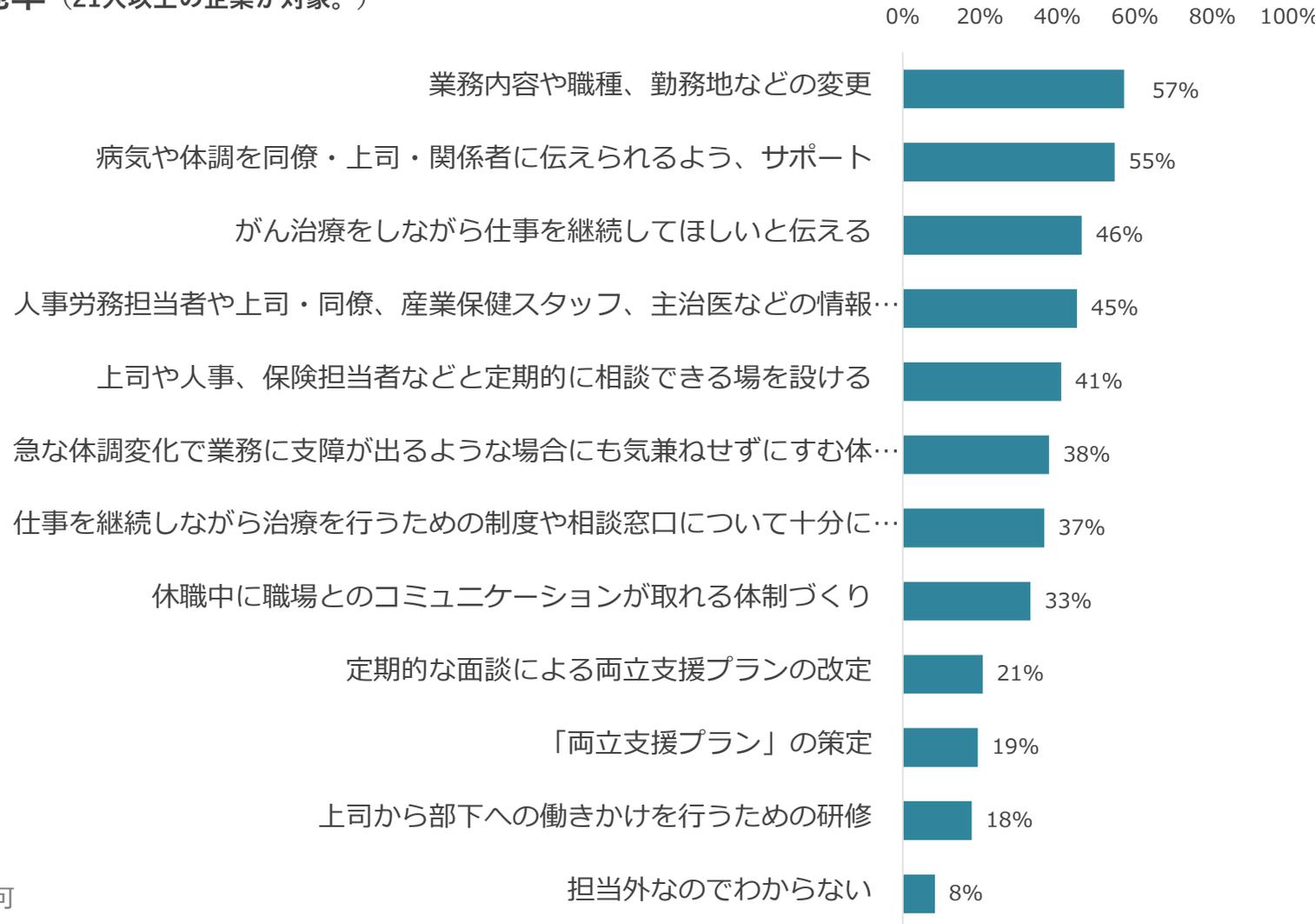


n=1017 複数回答可

# 調査結果 両立支援の取り組み

問14.両立支援を支えるため以下の取り組みはありますか？ 複数回答可

## ■ 両立支援の取り組み実施率（21人以上の企業が対象。）



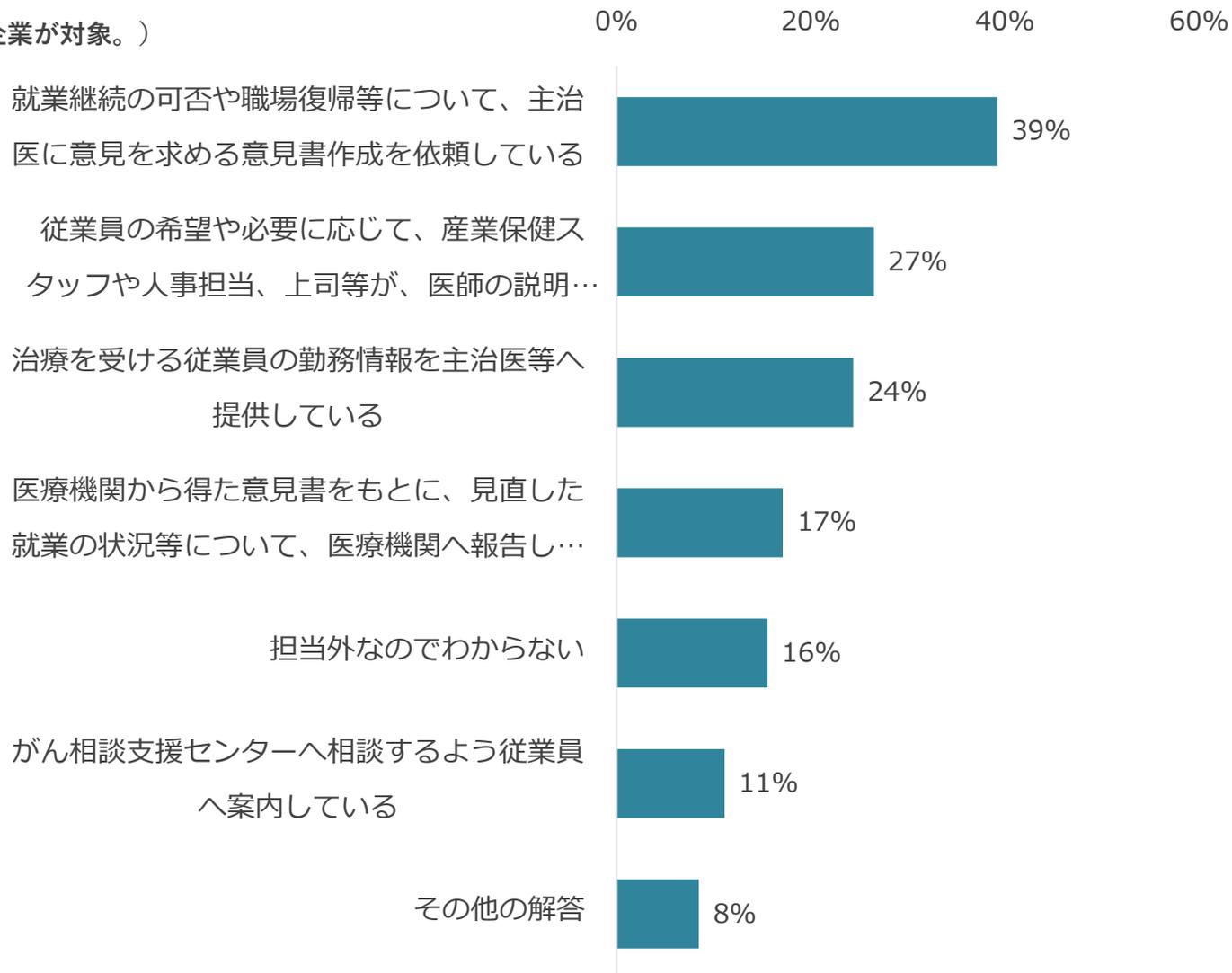
n = 566 複数回答可

# 調査結果 両立支援の取り組み

問16.がん治療と仕事の両立支援における医療機関との連携の方法について、あてはまるものを選んでください。

複数回答可

## ■ 医療機関との連携（21人以上の企業が対象。）

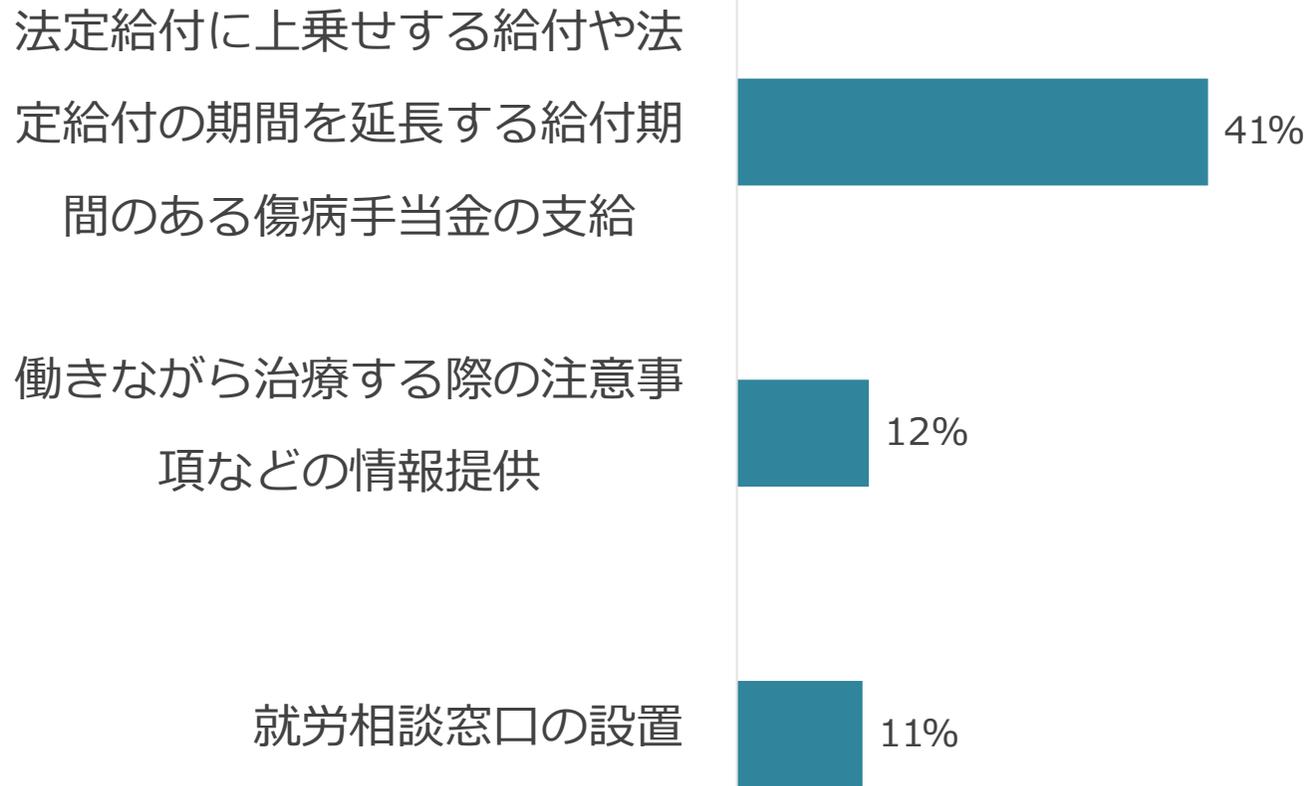


n = 566 複数回答可

# 調査結果 両立支援の取り組み

問17.がん治療と仕事の両立支援に対する貴健保組合での取り組みについて、あてはまるものを選んでください。 複数回答可

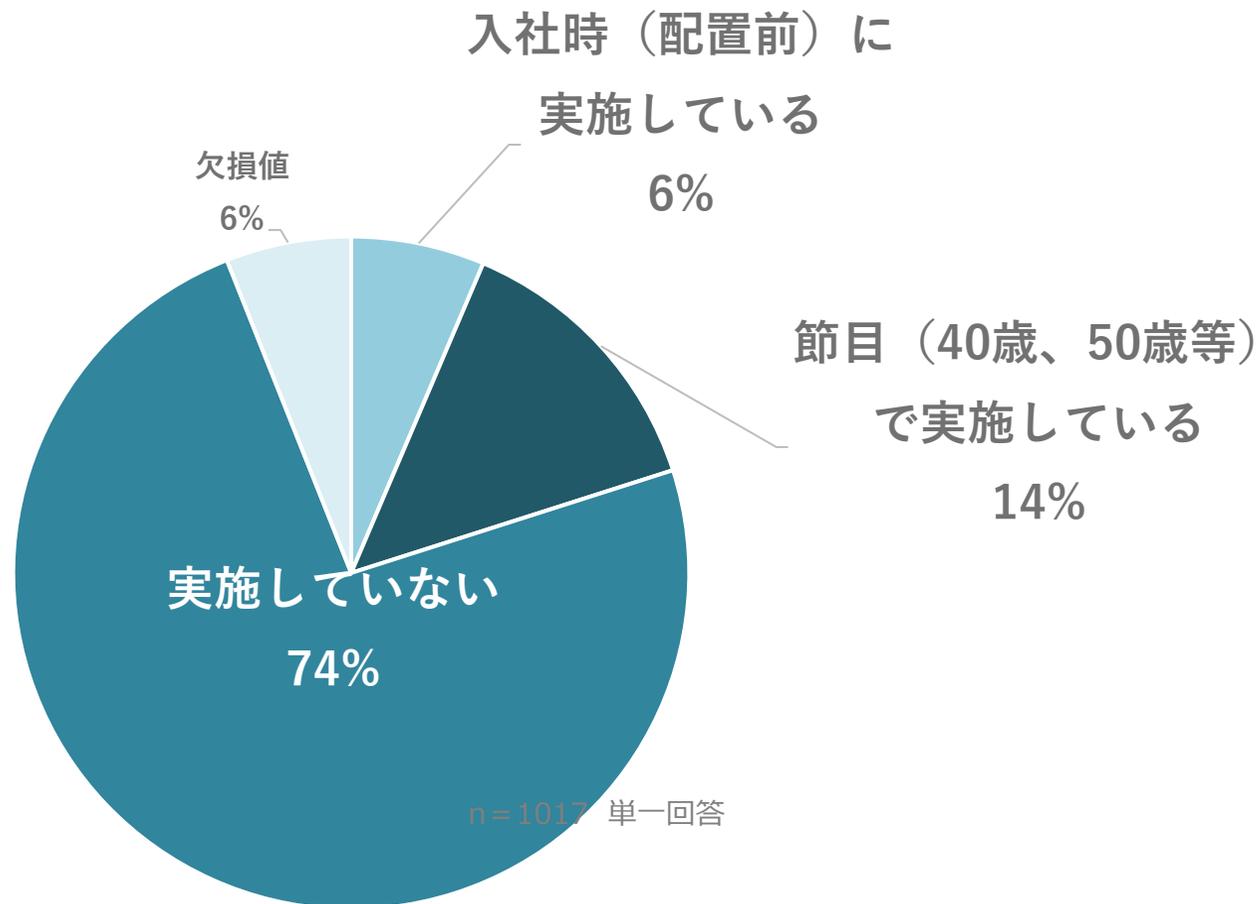
## ■ 健康保険組合における取り組み（健康保険組合のみ対象。）



n = 182 複数回答可

# 調査結果 ウイルス性肝炎検査実施率

問8.肝がんの予防には、ウイルス性肝炎の治療が効果的と言われています。  
御社では、ウイルス性肝炎検査を実施していますか？



# 調査結果 各検診開始年齢

問6.検診を実施している場合は、受診の年齢・間隔をお答えください。

開始年齢の平均値

部位	検診方法	全体	企業	健保	企業規模別					
					0-20名	21名-100名	101名-500名	501名-1000名	1001名-5000名	5001名以上
胃がん検診	胃内視鏡（胃カメラ）	35.1	35.7	33.6	38.1	35.2	34.6	36.1	35.5	33.4
	胃部X線（バリウム）	34.4	34.6	33.6	35.0	33.5	34.6	35.0	35.0	35.5
	ヘリコバクターピロリ菌検査（ABC検査含む）	30.3	30.4	30.1	35.0	30.3	25.0	30.7	31.8	31.5
肺がん検診	胸部X線（レントゲン）のみ	24.4	24.8	23.5	30.4	23.2	22.5	22.6	23.9	24.7
	胸部X線（レントゲン）+喀痰細胞診（喫煙者のみ）	32.8	32.6	33.1	36.5	33.3	28.7	33.3	33.6	30.7
	胸部CT検査	35.5	35.9	34.5	35.6	33.1	34.5	36.4	37.8	37.0
大腸がん検診	便潜血検査（検便・二日法）	32.8	32.9	32.6	33.9	31.5	32.9	32.3	33.0	34.6
	便潜血検査（検便・一日法）	33.2	34.6	30.9	35.0	26.2	37.3	36.4	32.8	35.0
	大腸内視鏡（大腸カメラ）	36.3	38.3	31.9	40.6	32.4	36.8	37.5	38.6	38.0
乳がん検診	マンモグラフィ	32.7	34.0	29.8	35.7	34.1	34.1	34.3	33.2	32.2
	超音波（エコー）	28.7	29.4	27.2	34.7	27.9	27.4	27.4	29.1	30.2
	マンモグラフィと視触診併用	31.4	32.5	29.3	34.9	31.2	31.7	28.4	33.1	32.6
	視触診単独	30.0	31.1	27.5	33.2	30.0	32.6	27.5	27.9	35.0
子宮頸がん検診	細胞診（医師採取）	25.7	26.2	24.3	31.0	27.3	23.1	24.2	24.5	25.8
	細胞診（自己採取）	24.7	24.9	24.5	40.0	27.8	22.4	22.2	21.1	23.4

数値を回答している団体のみ対象

n=641 n=590 n=768 n=731 n=732 複数回答可

# 調査結果 各検診受診頻度 胃がん

問6.検診を実施している場合は、受診の年齢・間隔をお答えください。

「検診方法」は複数回答可

部位	検診方法	頻度	全体	企業	健保	企業規模別					
						0-20名	21名-100名	101名-500名	501名-1000名	1001名-5000名	5001名以上
胃がん検診	胃内視鏡 (胃カメラ)	毎年	32%	28%	51%	20%	26%	28%	38%	43%	41%
		2年に一回	3%	4%	2%	5%	3%	1%	4%	6%	2%
		それ以外	12%	11%	14%	9%	8%	13%	9%	22%	16%
		実施していない	25%	26%	20%	25%	30%	26%	27%	19%	27%
		欠損値	28%	31%	13%	41%	33%	32%	23%	10%	14%
	胃部X線 (バリウム)	毎年	63%	59%	81%	38%	64%	68%	71%	72%	78%
		2年に一回	3%	3%	2%	4%	2%	2%	0%	5%	2%
		それ以外	4%	4%	4%	4%	2%	4%	4%	11%	6%
		実施していない	10%	11%	5%	18%	9%	9%	9%	7%	2%
		欠損値	20%	23%	8%	37%	24%	16%	16%	4%	12%
ヘリコバクターピロリ菌検査 (ABC検査含む)	毎年	9%	6%	23%	4%	3%	5%	11%	11%	14%	
	2年に一回	1%	1%	0%	4%	0%	0%	0%	0%	2%	
	それ以外	16%	14%	26%	6%	13%	18%	14%	22%	22%	
	実施していない	40%	41%	35%	36%	41%	41%	48%	48%	43%	
	欠損値	34%	38%	15%	50%	42%	36%	27%	19%	20%	

n=641 複数回答可

# 調査結果 各検診受診頻度 肺がん

問6.検診を実施している場合は、受診の年齢・間隔をお答えください。

「検診方法」は複数回答可

部位	検診方法	頻度	全体	企業	健保	企業規模別					
						0-20名	21名-100名	101名-500名	501名-1000名	1001名-5000名	5001名以上
肺がん検診	胸部X線 (レントゲン)のみ	毎年	68%	65%	83%	43%	72%	73%	79%	80%	76%
		2年に一回	1%	1%	0%	3%	1%	1%	0%	0%	0%
		それ以外	2%	2%	3%	3%	0%	1%	0%	5%	0%
		実施していない	9%	10%	5%	15%	7%	7%	5%	7%	10%
		欠損値	20%	23%	9%	35%	20%	19%	16%	7%	14%
	胸部X線(レントゲン) +喀痰細胞診(喫煙者のみ)	毎年	5%	4%	12%	1%	3%	4%	4%	7%	14%
		2年に一回	1%	1%	1%	3%	0%	0%	0%	0%	0%
		それ以外	4%	3%	7%	4%	2%	4%	4%	5%	2%
		実施していない	51%	50%	56%	40%	48%	53%	63%	62%	61%
		欠損値	39%	42%	24%	52%	47%	38%	30%	26%	24%
胸部CT検査	毎年	7%	5%	14%	5%	2%	3%	11%	6%	16%	
	2年に一回	2%	2%	1%	4%	0%	1%	2%	3%	0%	
	それ以外	7%	7%	8%	4%	5%	8%	9%	14%	14%	
	実施していない	46%	44%	55%	36%	47%	47%	50%	50%	51%	
	欠損値	38%	41%	22%	51%	46%	40%	29%	27%	20%	

n=590 複数回答可

# 調査結果 各検診受診頻度 大腸がん

問6.検診を実施している場合は、受診の年齢・間隔をお答えください。

「検診方法」は複数回答可

部位	検診方法	頻度	全体	企業	健保	企業規模別					
						0-20名	21名-100名	101名-500名	501名-1000名	1001名-5000名	5001名以上
大腸がん検診	便潜血検査 (検便・二日法)	毎年	65%	61%	84%	39%	66%	73%	73%	77%	76%
		2年に一回	1%	2%	1%	4%	1%	0%	0%	1%	0%
		それ以外	2%	2%	3%	3%	1%	2%	0%	6%	0%
		実施していない	9%	11%	2%	17%	8%	6%	13%	7%	8%
		欠損値	22%	24%	10%	37%	25%	19%	14%	9%	16%
	便潜血検査 (検便・一日法)	毎年	9%	7%	20%	4%	5%	8%	13%	12%	16%
		2年に一回	1%	1%	0%	3%	0%	0%	0%	0%	2%
		それ以外	2%	2%	2%	3%	0%	2%	0%	3%	0%
		実施していない	49%	47%	55%	38%	47%	52%	57%	59%	55%
		欠損値	39%	43%	24%	53%	48%	38%	30%	27%	27%
	大腸内視鏡 (大腸カメラ)	毎年	4%	3%	8%	3%	2%	2%	4%	5%	8%
		2年に一回	1%	2%	0%	3%	0%	1%	2%	3%	0%
		それ以外	6%	6%	7%	7%	4%	3%	2%	11%	4%
		実施していない	50%	48%	60%	36%	47%	56%	63%	54%	63%
		欠損値	39%	42%	25%	51%	47%	39%	30%	27%	25%

n = 768 複数回答可

# 調査結果 各検診受診頻度 乳がん

問6.検診を実施している場合は、受診の年齢・間隔をお答えください。

「検診方法」は複数回答可

部位	検診方法	頻度	全体	企業	健保	企業規模別					
						0-20名	21名-100名	101名-500名	501名-1000名	1001名-5000名	5001名以上
乳がん検診	マンモグラフィ	毎年	35%	27%	69%	15%	21%	29%	43%	44%	61%
		2年に一回	13%	14%	8%	10%	19%	12%	11%	19%	12%
		それ以外	9%	8%	10%	7%	8%	11%	9%	11%	4%
		実施していない	18%	20%	6%	25%	19%	22%	16%	14%	10%
		欠損値	26%	31%	8%	44%	32%	26%	21%	13%	14%
	超音波（エコー）	毎年	32%	24%	67%	12%	19%	24%	36%	46%	57%
		2年に一回	6%	7%	4%	6%	3%	6%	5%	15%	10%
		それ以外	8%	7%	10%	5%	6%	11%	7%	11%	4%
		実施していない	25%	28%	9%	32%	33%	29%	25%	15%	14%
		欠損値	29%	34%	10%	45%	39%	29%	27%	14%	16%
	マンモグラフィと視触診併用	毎年	13%	10%	30%	6%	7%	9%	13%	18%	22%
		2年に一回	5%	6%	1%	6%	5%	6%	4%	6%	6%
		それ以外	5%	5%	7%	4%	3%	7%	5%	6%	2%
		実施していない	41%	41%	43%	34%	42%	43%	46%	46%	51%
		欠損値	36%	39%	20%	50%	42%	36%	32%	23%	20%
	視触診単独	毎年	5%	5%	8%	3%	5%	4%	5%	10%	2%
2年に一回		1%	1%	0%	1%	1%	2%	0%	0%	4%	
それ以外		2%	3%	2%	4%	2%	3%	2%	1%	0%	
実施していない		52%	49%	66%	38%	46%	51%	57%	61%	71%	
欠損値		40%	43%	23%	53%	46%	41%	36%	29%	24%	

n = 731 複数回答可

# 調査結果 各検診受診頻度 子宮頸がん

問6.検診を実施している場合は、受診の年齢・間隔をお答えください。

「検診方法」は複数回答可

部位	検診方法	頻度	全体	企業	健保	企業規模別					
						0-20名	21名-100名	101名-500名	501名-1000名	1001名-5000名	5001名以上
子宮頸がん検診	細胞診 (医師採取)	毎年	35%	28%	68%	18%	22%	27%	41%	49%	57%
		2年に一回	12%	14%	4%	11%	20%	15%	9%	13%	14%
		それ以外	7%	7%	7%	4%	6%	11%	9%	10%	4%
		実施していない	19%	22%	8%	25%	22%	22%	23%	17%	10%
		欠損値	26%	29%	12%	42%	30%	26%	18%	12%	16%
	細胞診 (自己採取)	毎年	8%	6%	21%	2%	4%	7%	11%	12%	8%
		2年に一回	1%	1%	1%	2%	0%	2%	0%	1%	2%
		それ以外	4%	3%	5%	3%	1%	4%	2%	7%	4%
		実施していない	48%	47%	49%	41%	45%	48%	52%	54%	67%
		欠損値	39%	43%	23%	52%	50%	39%	36%	26%	20%

n=732 複数回答可

# 最後に

昨年度回答数704を超える1,017のパートナー企業・団体から回答をいただいた本調査であるが、昨年度同様に、肺がん検診や大腸がん検診の受診率は、国民生活基礎調査での結果を20%程度上回るものの、子宮頸がん検診では、同調査の結果を10%程度下回るという結果であった。企業規模別（従業員数）で見ると、0-20名以下の小規模企業では胃がん、肺がん、大腸がん検診の受診率は低く、一方で、乳がん、子宮頸がん検診の受診率が高いことは着目すべき結果であり、その要因に関してさらなる調査が必要である。

企業は、規模、業種、従業員の働き方、福利厚生などの特性が様々であるため、がん検診に対する取り組みや両立支援制度について、一律の対策が適用できるかどうかは難しい問題であると言える。がん検診受診率向上に繋がるエビデンスが強い費用補助やアクセスの向上、教育などが、多種多様な多くの企業で行えるように企業アクションとしてのサポートのあり方も重要な課題であろう。

例えば、本調査において、

「がん検診に関するポスターやパネルの掲示、社内報やセミナーなどを通じて、がんに対する情報を発信している」と答えたのは、従業員1001名～5000名規模の企業・団体の63%に対して、20名以下の企業・団体では3%と非常に低い。企業アクションでは、がん検診の啓発ポスターやチラシはもちろん、社員にメール送付できるようPDFに纏めたニュースレターを毎月発行している。小規模企業における利用促進のサポートが必要となるだろう。

また、「がん検診実施の際に、女性への配慮を行っている」と答えたのは従業員1001名以上の大規模企業・団体でも47%と半数に満たない。

企業アクションの女性がん対策プロジェクト「Working RIBBON」では、女性がん対策優良企業の取り組みを取材し記事にまとめているが、その好事例をパートナーへ広く共有する等の支援も重要である。

さらに、今回の調査からは、厚生労働省が推奨している検診項目や対象年齢、頻度との乖離が報告されている。本調査に協力いただいたパートナー企業・団体は、国内の一般的な企業と比較して、熱心にごん対策に取り組んでいることは想像に難くない。第4期がん対策推進基本計画が始まる本年、企業アクションがどのようにそれぞれの企業のごん対策に関わっていくか、本調査で今後の課題の一部が明らかになったと言える。

がん対策推進企業アクション アドバイザリーボード オブザーバー  
東京大学大学院 医学系研究科 総合放射線腫瘍学講座 特任助教  
南谷 優成